

平成16年9月27日
北海道ガス株式会社

CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）の導入について

～グループ経営強化に向け、資金管理を一元化～

このたび弊社では、グループ経営の強化に向けた施策の一環として、CMS（キャッシュ・マネジメント・システム）を導入いたしました。

CMSとは、グループ全体の資金管理の効率化を図るものです。統括会社がグループ全体の資金を一元管理し、グループ各社間の資金の集中・配分を行うとともに、支払を代行します。

このシステムの運用により、グループ全体の資金効率を高めるとともに、連結有利子負債圧縮および金融費用の削減を図ります。さらに、ペイオフ等の資金運用リスクを回避いたします。

■ CMSの概要

①システム内容

当社およびグループ各社間の資金プーリングを行い、日々のグループ内資金を管理します。つまり滞留資金を集中し、資金不足となるグループ内各社へ配分することにより、グループ全体での有利子負債の圧縮、金利負担の軽減を図ります。また、将来的には支払代行等機能を拡充することで、グループ各社の資金に係る業務を合理化します。

*プーリング… グループ間の資金移動を自動化し、毎日グループ会社の銀行口座残高をゼロにする機能のこと。

②対象範囲

- (1) 統括会社：北海道ガス㈱
- (2) 参加会社：北海道ガス㈱、北ガスジェネックス㈱、北ガス建設㈱、北ガスサービス㈱、
㈱ケージープランニング、天然ガス自動車北海道㈱ = 合計6社
※当初、連結子会社5社を対象とし、順次参加会社を拡大して参ります。

③実施時期

平成16年9月21日

④導入効果

連結有利子負債18億円、連結支払利息20百万円の削減を見込んでおります。
(連結子会社5社を対象とした場合の年間試算額)

以 上

<資料>

■ CMS のイメージ

